

第一表

		国語科指導の単純形態 (一)	
七よむ	今日 の勉強を 考 えながら	今日 の勉強を 考 えながら	今日 の勉強を 考 えながら
六とく	文に即して 事の中に意を におわせる	文に即して 意をとつぷり 理會させる	文に即して 言の中に意を見 出させる
五よむ			
四かく	事	意	言
三よむ			
二とく	い 読後感の話し合 か考えながら	事を通して意を つかむ道筋	わ 真意をしみじみ味 う
一よむ	何が書いてある か考えながら	前のことを考え ながら	前のことを考えな がら
	第一次指導 全課の概観	第二次指導 重要なところを	第三次指導 形式の取扱い

第二表

導指次三第		導指次二第		導指次一第		国語科指導の単純形態 (二)
くと六	くと二	くと六	くと二	くと六	くと二	
18 ○余	17 ○こ もる 力	16 ○文 中の 位置	15 ○手 引	14 ○承 おさ ら	13 ○お さら い	
韻	第三層と結んで 題目にかえれ	第一層に位置づけて	文字か語句か	第一層を回顧し、11に重点をかけて 12を承けて後につなぐ	第一層が一握りできるように	
				有機的なつながり 第三層発見のいとぐち 自習のいとぐち	全課の輪郭 印象の強かったところ 第一層が一握りできるように	
				4をあっさり、5に重点をおいて 6を承けて後につなぐ 第三層がつかめるように		
				3 ○手 ひ	2 ○ひ び	
				6 ○余	5 ○山	
				4 ○事	3 ○区	
				9 ○手	8 ○承	
				7 ○お さら い	6 ○承	
				11 ○心	10 ○語	
				12 ○余	11 ○区	